

# それでも僕は帰る

シリア 若者たちが求め続けたふるさと

サンダンス映画祭 2014 ワールド・シネマ  
ドキュメンタリー部門 グランプリ受賞  
その他各賞受賞

ひとつの街を舞台に、二人の若者が経験する恐るべき通過儀礼。それは、国家全体を引き裂く戦争へとエスカレートしていく。見るものを瞬く間に熱狂的な争いに巻き込む衝撃作。(ニューヨークタイムズ) あなたは熾烈を極める戦争の目撃者となる (Time Out) 紛争地での驚くべき撮影を成し遂げた衝撃作。観客は瞬時にシリア内戦の最前線を目にする。(Variety)

高遠菜穂子 イラク支援ボランティア

私たちが目撃すべきは、戦場と化したシリアじゃない。そこに至るまでの過程なのだ。平和主義者が銃弾に倒れ、歌って踊るデモが流血に染まり、必死に映像を届けようとする若者たちに私たちはどうリアクションしたか？世界は殺戮を止めるために全力を尽くしたか？そう問い詰められる強烈な映像の連続に息をのむ

日時：5月27日(日) ①13:15 ②15:00

場所：プラス・ド・パスレル(保谷庁舎・こもれびホールの前)

(西東京市泉町3-12-25パスレル保谷 2F 1F・生活クラブ生協)

入場料：1000円、子ども・学生 500円(当日券のみ)

収容人数は30人。ほぼ入場可能と思われませんが、ご心配な方はご予約下さい

主催：西東京・生活者ネットワーク

(TEL042-453-4121 nishitokyo@seikatsusha.net)

